

技能章・研究ノート

ハイキング章

※技能章・研究ノート活用については、「技能章・研究ノートについて」を参照

参考書籍：スカウトハンドブック

進歩の手引き

ボーイスカウトハンドブック⑤計測

スカウトスキル・セレクション

その他書籍

山登り ABC シーズ 地図読みはじめの一步 著者 平塚晶人 山と溪谷社

日本ボーイスカウト愛媛県連盟

松山地区 第 団

氏名 _____

スカウトへ、知っていますか？

- 学校の授業は、学習指導要領に基づいて行われています。
- 学校で使用する教科書は、学習指導要領に沿った内容であるかどうか、国が検定をおこなっています。その学習指導要領に合致した教科書を学校の授業で使用しています。
- 極々一部の有名難関私学を除いて、入試においては、これまで学習してきた内容を問うています。言い換えれば、学習指導要領に沿って、これまで学習したことが出題されるということです。入試でさえそうなのだから、普段の学校でのテストはなおのことです。
- 試しに、近隣の公立高校・私立高校の過去の入試問題とその解答を片手に、教科書を隅々まで読んでみてください。
教科書のどこかに記載があります。(教科書に無いという場合は、君が見落としていません。もう一度よ〜く見直して、隅々まで、表題や最初の解説、図の下に書いてある語句や欄外など読み飛ばしてないかな?)。
- 教科書が手元にない場合は、書店に行けば、各学校で使用している教科書ごとの教科書ガイド(完全準拠)というのがあり、教科書の内容に完全準拠したものがあります。(詳しくは書店の店員さんにお尋ねください。)
- 学習の基本は学校の授業であり、教科書です。暗記が不十分なのか、理解が不十分なのか、練習が不十分なのか・・・それによって、どういう家庭学習が必要なのか変わってきます。
- スポーツでも勉強でも、身体や脳のリフレッシュがあつて、はじめて能力がアップします。適切な睡眠時間が、活動中にかかった負荷に応じて、身体や脳を整え強くします。
- 適度な運動は血の巡りを良くし、脳にも大変よい。
- 学校の授業、先生の話に集中すること(一言も聞き漏らさない覚悟ある集中)が一番大切です。生活リズムをしっかりと整えましょう。
- 集中力を高める一番の方法は、好きなことをする時間を確保し、その時間は夢中になることです。ただし、ただだらやらない。好きな事にすら集中できないのに、勉強に集中は出来ません。
- 睡眠不足では集中出来ません。質の良い睡眠を確保するためには、適度な運動も必要です。夜、スマホやTVゲームを遅い時間にしていると脳が刺激され、寝付けなくなります。
- 教えてもらうばかりでなく、自分で根気よく考え、頭を悩ませる時間も大切です。
- 読解力は、どの教科にも共通に大事なことです。耳も目も口も使う音読で、意識して読む。すらすら音読できないうちは、理解も暗記も出来ていない証拠です。数学も同様ですよ。数学が本当に良くできる者は国語ができます。国語が本当によくできる者は数学ができます。
- 『よく学び、よく遊べ』であり、『文武両道』、『心技体』が大切です。
- 授業中は先生の話に集中し、黒板に書いてあることで必要なら教科書に鉛筆で線を引く、教科書の余白にメモしておく。ノートにまとめる必要があるなら、落ち着いた自宅で、復習の際、まとめればよい。なぜなら、教科書に必要なことはすべて記載があるからです。必要なことが記載されていない教科書は学校では使用されません(教科書検定で不合格になります)。最初は普通の鉛筆で線を引くなどしたのでよい。最初から色鉛筆だと覚えた後、消せないの・・・。
- 先生の話と教科書をしっかりと観察することが基本です。
- 基本がしっかりしていないと、応用ばかりやっても無駄になります。基本を大切に。

学校の教科書などで、前方後円墳などの遺跡やリアス式海岸などの地形などがでてきます。また、田畑では季節ごとに様々な作物が栽培され、野山には季節ごとに花が咲き、実が生っています。ウサギなどの小動物に出会うことも・・・。

班や隊のハイキングで、近隣の遺跡や古い街道、野山に行く計画をするのも方法です。教科書の写真やイラストではなく、実際に観ることにより、印象に残るでしょう。

そうすれば、勉強も技能章も一挙両得です。

(1)パトローリングの正しい方法と、その意味を説明する

パトローリングの正しい方法（隊形や役割分担、道路事情に応じた注意点など）

自分の班の人数に応じたパトローリングの隊形を考えてみよう。

※追跡ハイキングや観察ハイキング、食用野草探しなどに使えるようだ。

※後輩の育成を考えた隊形もよさそうだ。

(3) ハイキングで観察物を 3 種類以上スケッチする。

スカウトハンドブック P. 136～139、158～173

関連技能章 12. 観察章 (1・3・4・6)

名称	スケッチと時季 (年月日) や場所など

(4)地球にやさしい野外活動をするために、ハイキングで何ができるかを説明できる。

(アウトドアコード)

スカウトハンドブック P. 56～59、350～354、356～359、364～365、進歩の手引き P. 84～85

スカウト環境行動スローガン、アウトドア・コード（野外生活のおきて）
ハイキングでの道中や目的地でできることや気を付けることは？

※自然へのマナー、人へのマナーを考えてみよう。
※来たときよりも美しく。

(5)道に迷ったときの対処の方法を説明できる。

スカウトハンドブック P. 64～65

※道迷いによる最悪の事態を避けるためには？

装備や携行品、地図や行程(コースや時間)をもう一度確認してみよう。

(6)ハイキングで野帳をつけ、またその野帳によって略地図を作る。

1級3(5)③共通

スカウトハンドブック P. 84～85、進歩の手引き P. 22～26

※進歩の手引き 2017年10月28日初版発行のP. 24の野帳例上段の左右の表記誤りあり

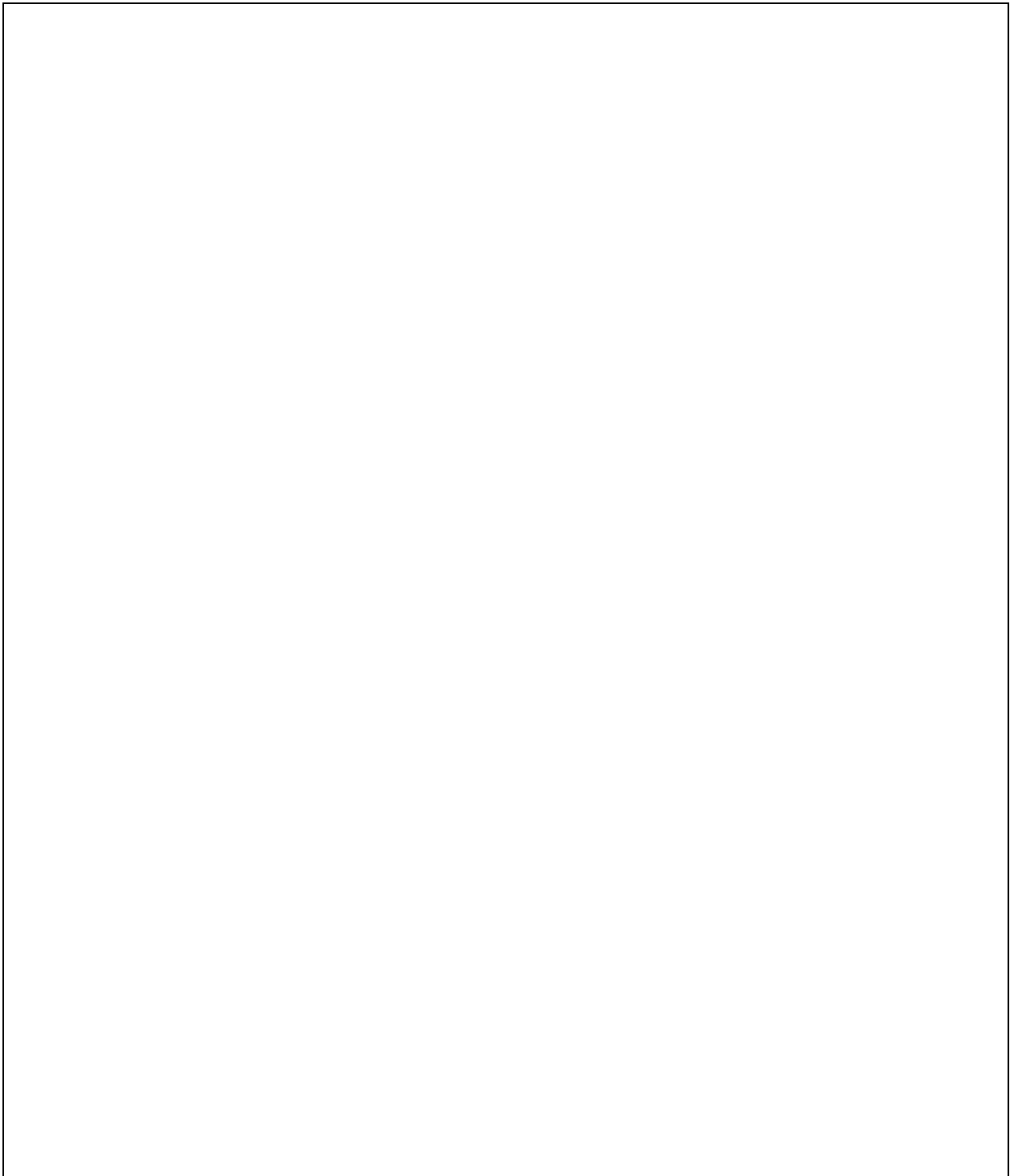
ボーイスカウトハンドブック⑤計測 P. 88～94、107～110

関連技能章10. 通信章(3・4)、11. 計測章(3・8)

※参考：二線法の用紙など

(7)ハイキングに適切な服装、雨具、靴について説明できる。

スカウトハンドブック P. 72～76



(8) 自然環境を利用した天気の詳細ができる。

スカウトハンドブック P. 122~125、184~185

※気温・湿度・風向などの変化に自然界の生き物は敏感です。

肌で気温・湿度・風向き・気圧の変化などを感じ、匂いを嗅ぎ、耳を澄まして生き物の活動を知り、空や山を遠く眺めて、川の流れを近くに観て、これから起こる天候の変化、自然の変化を読み取る。

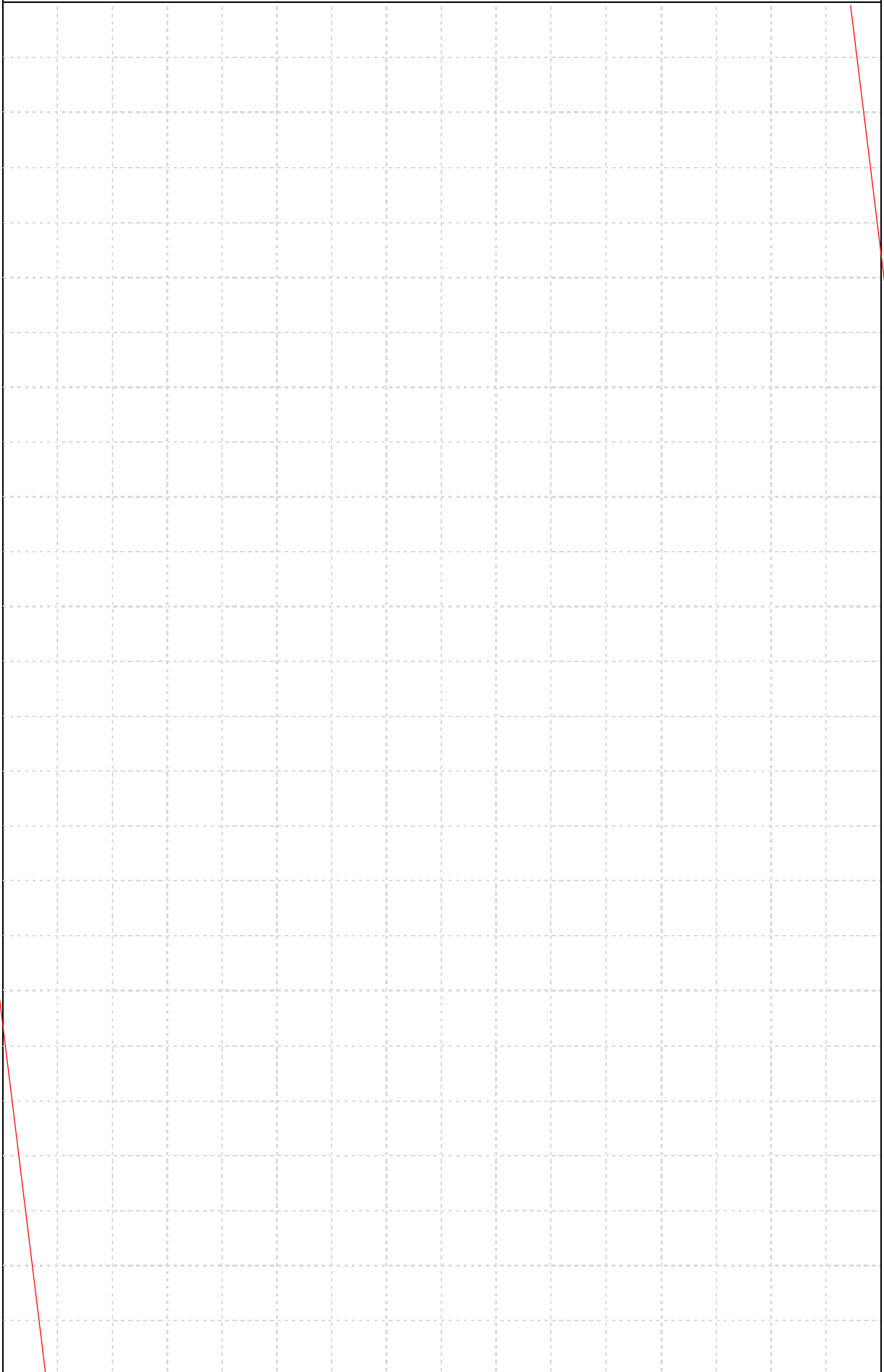
※普段から天気図をみて、五感を働かせて周囲をよく観察していると、いろいろと気が付くよ。

※自然の変化をいち早く察知し、対策を講じて、難を逃れるのだ。

住んでいる地域の天気のことわざ・観天望気など、天気に関して調べてみよう

※雨や雷、強風、猛暑、低温などは、どういう天候のときになるのだろうか？

略地図



※別紙でもよい。 赤線は西(左)に約7度傾けた線(磁北線)